

岐阜市に住民票がある

平成9年4月2日から平成20年4月1日生まれの女性とその保護者の方へ

期限が迫る！接種はもうお済みですか？

**HPV**ヒトパピローマウイルス  
感染症予防接種最近よく目にするHPVワクチン。  
接種するか迷うなあ。今から接種しても  
効果はあるの？そんなあなたに知ってほしい、  
HPVワクチンのこと。**HPVワクチンとは**子宮頸がんの原因になる  
ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を防ぐワクチンです。**子宮頸がんとは？**

- 日本では毎年、約1.1万人の女性が子宮頸がんにかかり、約2,900人の女性が子宮頸がんによって亡くなっています。
- また、若い年齢層で発症する割合が比較的高いがんです。患者さんは20歳代から増え始めて、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう(妊娠できなくなってしまう)人も、1年間に約1,000人います。

**ワクチン接種の安全性は？**

- HPVワクチンの接種については、専門家の会議において継続的に議論されてきました。令和3(2021)年11月12日に開催された会議において、安全性について特段の懸念が認められないことが確認され、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められました。

**今から接種しても効果はあるの？**

- 16歳頃までに接種するのが最も効果が高いですが、それ以上の年齢で接種しても、ある程度有効性があることが、国内外の研究で示されています。今から接種することにも意味はあります！

**期間**

令和7年3月31日まで

令和7年4月以降の接種も可能ですが、費用は自己負担となります。

**接種回数**合計**3回**(最短で**6か月**)が必要です。無料で3回接種をするためには、**1回目のワクチン接種を9月末までに完了**させましょう。途中で接種が止まっている方も、**残っている回数の接種**が可能です。

接種するために何をしたらいいの？

**裏面をチェック！**

# 1 接種を受けたいと思ったら

医療機関を検索して  
まずは予約！



▲医療機関一覧



▲HPVワクチン  
説明書



接種する前にコレを  
読んで行ってくださいね！

市外で接種する場合はこちら→

市外で接種する場合は、接種時に岐阜市の発行した予診票  
が必要です。また、県外で接種する場合は事前に申請が必  
要です。ご不明点はお問い合わせください。



▲市外で予防接種  
を希望される方へ

# 2 接種時に必要なもの

- 母子健康手帳
- 予防接種予診票(オレンジ色)

**Q:**子どもじゃないのに母子手帳が必要？

**A:**これまでの接種記録の確認や、今回の接種を  
記録するために必要です。できるだけご持参くだ  
さい。

**Q:**予診票をなくした！

**A:**岐阜市内の委託医療機関にもあります。  
予約時にお申し出ください。

# 3 注意事項

必ず、接種履歴を母子健康手帳や接種済証でご確認ください。

平成9年度～11年度生まれの女性の方へ

平成21年度～23年度に無料で接種している可能性があります。特にご注意ください。

令和4年3月31日までにHPVワクチンを自費で接種された方へ

接種費用を払い戻せる場合があります。

詳細は岐阜市ホームページをご覧ください(払い戻しは令和6年度末で終了)。

岐阜市公式HP



子宮頸がんで苦しまないために

できることが2つあります。  
HPVワクチン接種後も検診を！

- ① HPVワクチン ▶HPVの感染を予防します。
- ② 子宮頸がん検診 ▶がんの早期発見につながります。  
▶20歳以上の方は定期的に検診を

●問い合わせ先●

☎058-252-7187

岐阜市保健所 感染症・医務薬務課